

## おむつセットのご案内

当院では、患者さんがご入院中に必要とされる大人用『紙おむつ』のレンタルを専門業者により導入しております。料金は日額設定のため、必要なときに必要なだけ紙おむつをご使用していただくことが可能となります。



おむつセットは、2号館1階総合案内おむつセット受付で平日（月曜日から金曜日）の午前10時から午後3時までお申込みいただけます。詳細は、受付でご確認ください。

## 市民公開講座のご案内

浜松医療センターでは市民を対象とした市民公開講座を開催しており、毎回、多くの方々に参加をいただいております。今回は歯科口腔をテーマに平成29年1月21日（土）アクトシティ浜松コングレスセンター31会議室で開催します。

詳細は、今後、当院ホームページ等でご案内します。

入場は無料・事前の予約等は不要ですので、直接会場へお越しください。

（先着順：定員380名程度）



日曜日(10/16)に乳がん検診が受けられます



10月の第3日曜日（10月16日）はジャパン・マンモグラフィーサンデーです。これは『日本乳がんピンクリボン運動（NPO法人J.POSH）』が日曜日の乳がん検診実施を呼びかけているものです。当院の健診センターも今年で5回目の参加となります。

乳がんは、女性のがんで罹患率が第1位です。特に40、50代の女性の発症率が高い傾向がみられます。また、早期発見で治癒が可能ながんのひとつです。

毎日を仕事、家事、子育てと忙しく過ごしている女性のみなさん、この機会に乳がん検診を受けてみませんか？ 検診当日は女性スタッフが対応します。

浜松市にお住まいで40歳以上（平成28年度偶数年齢）の方は、がん検診受診券を利用して受診することもできます。

「乳がん検診（マンモグラフィー）ってどんなことをするの？」「がん検診受診券はどうやって取り寄せるの？」等、不明な点がありましたら健診センタースタッフがご答えします。お気軽にお問い合わせください。

お申込み方法

健診センターへお電話ください。※予約制です。

TEL 053-451-2733（直通）

平日の8：30～17：00

# ふれあい

浜松医療センター広報誌  
No.37(平成28年8月発行)



新人看護職員の3ヶ月研修  
座禅を通じて、今の自分を見つめ直します

### 目次

- ◎当院が医療被ばく低減施設に認定されました！
- ◎ぜんそくの新治療：温熱療法  
「気管支サーモプラスティ」を始めました！
- ◎日曜日に乳がん検診が受けられます
- ④オムツセットのご案内
- ⑤市民公開講座のご案内

〒432-8580 浜松市中区富塚町328

TEL 053 (453) 7111

URL <http://www.hmedc.or.jp>

発行：浜松医療センター



～ ご自由にお持ちください ～

# 当院が医療被ばく低減施設に認定されました！



今回取得した認定証など

レントゲンやCTなどの放射線検査は現代医療に必要不可欠ですが、東日本大震災以降、放射線に不安を抱く患者さんが増えています。放射線検査を行う診療放射線技師としては、不安を軽減し安心して検査を受けていただくことが重要と考えます。また、あまり知られていないのですが、放射線検査で使用する放射線量は、対象となる病気や使用する装置などにより異なるため、施設によって差が生じます。

そこで当院では10年ほど前から“放射線被ばく管理係”を設けて、医療被ばくの活動に力を入れてきました。さらに、診療放射線技師全員が一丸となって取り組んだ結果、平成28年5月1日付で日本診療放射線技師会が定める“医療被ばく低減施設”に認定されました。静岡県内では3施設目、西部地区の総合病院では初の認定です。

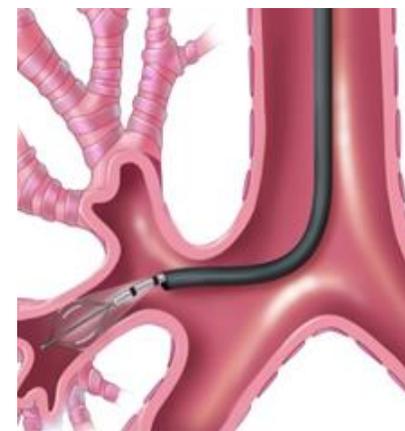
この認定制度は、安心できる放射線診療を国民のみなさまに提供するために行われています。認定基準は48項目あり、検査で使用する放射線量の適正化と被ばく線量の評価、患者さんへの広報活動や被ばく相談への対応などがあります。第三者から“医療被ばくを適切に管理し、低減している施設”という評価を受けたことで、患者さんが、より安心して放射線検査を受けていただければと考えています。

## ぜんそくの新治療：温熱療法「気管支サーモプラスティーク」を始めました！

気管支喘息では、吸入の薬を続けることで気道の炎症を抑制し、発作を起こらなくすることが目標です。治療の基本は吸入ステロイド薬ですが、十分な量の吸入薬を使用しても、せき・息切れなどの症状や発作が減らない患者さんも1割程度います。

喘息発作の時には、気管支の炎症もひどくなり、気管支のまわりの「気管支平滑筋」が収縮することで、気管支が細くなってしまいます。

呼吸器内科で平成28年6月から始めた「気管支サーモプラスティーク」という治療法は、18歳以上で吸入薬を十分に使っても喘息症状が起こってしまう患者さんが対象です。気管支鏡を使って、先端に電極のついたカテーテルを気管支の壁に当てて、65℃で10秒間温めます。これにより気管支平滑筋が減り、発作の時に気管支が細くなるのを防ぎます。この治療により、発作の頻度や救急外来への受診回数も減ることが証明されています。この治療には2泊3日の入院を、3週間毎に計3回していただく必要があります。治療後に一時的に喘息発作が起こることがあり、入院前からステロイド薬を飲んで予防をします。治療費用に関しては高額療養費制度の申請が勧められます。当院の医療相談室にてご案内しますので、お気軽にご相談ください。



治療イメージ図